

令和元年度

学校関係者評価書



高千穂町立高千穂中学校

(1) アンケートは、7月と12月に実施。上段の数値は4段階評価の平均点、下段の数値は肯定意見（4段階評価のうち、4または3を回答）をした割合。

(2) 自己評価については、次のとおり。

① 数値目標が「肯定意見70%以上」の場合

4：肯定意見80%以上	「目標を十分に達成した」
3：肯定意見70%以上80%未満	「目標を達成した」
2：肯定意見60%以上70%未満	「目標を若干下回った」
1：肯定意見60%未満	「目標を下回った」

② 数値目標が「肯定意見100%」の場合

4：肯定意見100%	「目標を達成した」
3：肯定意見90%以上100%未満	「目標を若干下回った」
2：肯定意見80%以上90%未満	「目標を下回った」
1：肯定意見80%未満	「目標を大きく下回った」

取組	評価指標内容	アンケート			今後の方策・手立て	分析結果	自己評価	委員評価																																																																							
		項目	7月	12月																																																																											
1 確かな学力の定着(1)	①「分かる授業」を実現するために、指導方法の工夫・改善を行います。	授業の内容が分かるための工夫をしている。 授業内容を理解し、集中して学習に取り組んでいる。	3.2 89%	3.3 92%	○引き続き、全教諭・講師が研究授業を実施し、指導技術を高める。 ○来年度の諸調査を分析し、県平均を大きく下回る教科については、充実した授業の実践を重点的に行う。	目標を十分に達成した 肯定意見の平均は、昨年度と同じ90%である。なお、年度初めの諸調査をみると、3年はこれまでの指導の成果がでていいる。2年は教科による差異が見られる。	4	4																																																																							
			平均 3.2 (昨年 3.2) 90% (昨年90%)	<数値目標> 肯定意見 70%以上																																																																											
			<p>表1. 31年度全国学力・学習状況調査 (平均正答率)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">3年</th> <th></th> <th>国語</th> <th>数学</th> <th>英語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本校</td> <td>74.2</td> <td>60.7</td> <td>55.1</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>71.0</td> <td>59.0</td> <td>55.0</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>72.8</td> <td>59.8</td> <td>56.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>表2. 31年度みやざき小中学校・学習状況調査結果 (平均正答率)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>国語A</th> <th>国語B</th> <th>社会A</th> <th>社会B</th> <th>数学A</th> <th>数学B</th> <th>理科A</th> <th>理科B</th> <th>英語A</th> <th>英語B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">2年</td> <td>本校</td> <td>51.6</td> <td>40.7</td> <td>58.0</td> <td>47.6</td> <td>42.4</td> <td>42.7</td> <td>64.5</td> <td>40.2</td> <td>64.2</td> <td>54.1</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>56.7</td> <td>43.8</td> <td>59.2</td> <td>48.1</td> <td>52.1</td> <td>44.7</td> <td>58.2</td> <td>36.2</td> <td>61.5</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1年</td> <td>本校</td> <td>56.0</td> <td>23.8</td> <td>61.2</td> <td>58.9</td> <td>61.9</td> <td>40.8</td> <td>65.6</td> <td>26.0</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>60.2</td> <td>37.2</td> <td>65.4</td> <td>59.5</td> <td>64.6</td> <td>47.0</td> <td>66.5</td> <td>41.2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						3年		国語	数学	英語	本校	74.2	60.7	55.1	県	71.0	59.0	55.0	全国	72.8	59.8	56.0			国語A	国語B	社会A	社会B	数学A	数学B	理科A	理科B	英語A	英語B	2年	本校	51.6	40.7	58.0	47.6	42.4	42.7	64.5	40.2	64.2	54.1	県	56.7	43.8	59.2	48.1	52.1	44.7	58.2	36.2	61.5	48.1	1年	本校	56.0	23.8	61.2	58.9	61.9	40.8	65.6	26.0	—	—	県	60.2	37.2	65.4	59.5	64.6	47.0
3年		国語	数学	英語																																																																											
	本校	74.2	60.7	55.1																																																																											
	県	71.0	59.0	55.0																																																																											
	全国	72.8	59.8	56.0																																																																											
		国語A	国語B	社会A	社会B	数学A	数学B	理科A	理科B	英語A	英語B																																																																				
2年	本校	51.6	40.7	58.0	47.6	42.4	42.7	64.5	40.2	64.2	54.1																																																																				
	県	56.7	43.8	59.2	48.1	52.1	44.7	58.2	36.2	61.5	48.1																																																																				
1年	本校	56.0	23.8	61.2	58.9	61.9	40.8	65.6	26.0	—	—																																																																				
	県	60.2	37.2	65.4	59.5	64.6	47.0	66.5	41.2	—	—																																																																				
<p>《学校関係者評価委員コメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月、12月の結果から成果が出ているところから、指導力、方策、手立てが良かったのだと思う。生徒の努力がうかがえる。 ・生徒に対する発問が一人一人に考えさせるやり方で感心しました。思考力が増すと思います。 ・3年生がすばらしい。2年生・1年生の底上げを期待します。 ・生徒がそれぞれの苦手意識をもっている教科について、個別の指導をしていただけるとありがたいです。 ・授業参観させてもらったが、自分も授業を受けたいと思うような楽しい学習の様子がみられた。 ・生徒一人ひとりが、「自分の言葉で基本的事項を誰にでも分かるように説明できる」までの理解力をつけさせる授業の実践を期待したい。 ・勉強がおもしろいと思わせる授業が大事。得意教科が成り立つと全体が伸びている。授業態度、取り組む姿勢がよく、学年が上がるにつれ学力が伸びていくのだろうと思う。 																																																																															

取組	評価指標内容	アンケート			今後の方策・手立て	分析結果	自己評価	委員評価
		項目	7月	12月				
1 確かな学力の定着(2)	②自立した社会人・職業人の育成を目指し、キャリア教育を推進します。	将来の自分の生き方や自分が就きたい職業について学び、その実現のため意欲的に学習に取り組む。	2.9 69%	2.9 72%	○職業調べ、職場体験学習、進路学習などを今後も引き続き実施するとともに、高校説明会や立志式を通して自分の進路について考える機会を設ける。 ○実践しているキャリア教育について、学級通信をとおして保護者に啓発する。	目標を達成した 肯定意見の平均は、昨年度とほぼ同じ70%であった。自己評価が4となるよう更なる充実が必要である。	3	3
	<p>《学校関係者評価委員コメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習は続けてもらいたい。異なる職種の方々の体験講話もいいのではないのでしょうか。 ・生徒が、将来の目標ができるくらいやってほしい。まだまだ難しい年齢でしょうけど。 ・前年度と変化がないようですが、社会人・職業人に対して意識の差もあるのか、人生に対する意識が実感できないのだと思います。 ・キャリア教育について保護者に充分浸透していないように思えます。 ・企業が行う就職説明会の小型版を高千穂中又は町内の中学生を集めて生徒たちが知らない職業（職種）を紹介する取組も自分の進路を考える機会になるのではないかと。 ・将来の目標がわからないのは当たり前、考える機会があるのはいいこと。 							
	③家庭学習の充実を図ります。	家庭学習のめやす以上、勉強している。 1年 2時間 2年 2.5時間 3年 3時間	2.6 58%	2.6 60%	○家庭学習の重要性について、学級通信などをとおして保護者に啓発する。 ○家庭で学習する時間を確保するために、スマホ・タブレットの使い方をいろんな機会を見つけて指導する。	目標を大きく下回った 自己評価は、昨年度と同じ1であった。しかし、肯定意見の平均は、一昨年度70%、昨年度66%、本年度59%と年々悪化している。早急な対応が必要である。	1	1
<p>《学校関係者評価委員コメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習は時間の問題ではなく、充実しているか、いないかの問題である。学力が低下していれば家庭学習も必要です。 ・保護者が本気になり、子どものために、指導（家庭教育）をしてほしい。 ・帰宅後の時間の見直し、自分なりの目標を持つことが大事だと思う。 ・家庭学習を阻害している要因がはっきりしてきたので、そのところを改善する手立てをしてほしい。 ・テレビ・ゲーム・スマホの使用・利用の取り決めを家庭でしっかりとしてもらいたい。 ・徹底した保護者への啓発をお願いします。 ・2時間も3時間も勉強する子どもをみたことがありません。効率よく勉強する方法を教えてあげればよい。 								

取組	評価指標内容	アンケート			今後の方策・手立て	分析結果	自己評価	委員評価
		項目	7月	12月				
2 心の教育の充実 (1)	①集団の一員として、相手の立場を考えて行動させます。	友だちの立場を考えながら行動している。	3.3 94%	3.3 96%	○思いやりの指導を継続して行う。 ○生徒と接する際、教師自らが相手の立場を尊重し、生徒との信頼関係を深める。	目標を十分に達成した 肯定意見の平均は、昨年度と同じ95%であった。	4	4
		平均 3.3 (昨年 3.3) 95%(昨年95%)						
		<数値目標> 肯定意見 70%以上						
<p>《学校関係者評価委員コメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルはたくさんあると思うが、全体としておもしろいのある生徒です。普段からの先生方の指導に感謝します。 ・「思いやり」があれば、いじめはなくなると思うので、これからも指導を継続して欲しい。 ・社会に入って一番大切なことです。相手の立場も勿論ですが、自分をしっかり主張することも大切だと思う。 ・自分が嫌なことなどされたら、同じことを他人にしないようにしてもらいたい。 ・成果が出ているし、一番大事なことだと思います。 ・先生方の取組の結果だと思います。引き続きお願いします。 								
	②お互いの心が通じるような、時と場に応じた言葉遣いをさせます。	時と場に応じた言葉遣いをしている。	3.4 95%	3.3 93%	○時と場に応じた言葉遣いを行う指導を引き続き行う。 ○あいさつやマナーについての指導を、継続して行う。 ○生徒会活動を通して、思いやりの心の醸成を図る。	目標を十分に達成した 肯定意見の平均は、昨年度とほぼ同じ94%であった。	4	4
	平均 3.3 (昨年 3.3) 94%(昨年95%)							
	<数値目標> 肯定意見 70%以上							
<p>《学校関係者評価委員コメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣い、挨拶は基本的なマナーです。しっかり身に付けて欲しいと思います。高千穂中の先生はそれがしっかり守れています。 ・生徒たちの言動は問題ないと思います。礼儀正しいと思います。 ・あいさつは、良くしてくれます。すばらしい！ ・あいさつはすばらしい。 ・元気のよいあいさつは、気持ちが良いですね。 ・卒業した高校生もあいさつをしてくれる。中学での指導がいいと感じる。 ・相手の立場になって行動する習慣を身につけてもらいたい。 								

取組	評価指標内容	アンケート			今後の方策・手立て	分析結果	自己評価	委員評価
		項目	7月	12月				
2 心の教育の充実 (2)	③いじめをしない、させない、見逃さない指導を行います。	いじめを絶対に許しません。また、いじめかもと思ったら、先生や大人に相談する。	3.6 98%	3.5 95%	○引き続き、月1回のいじめアンケートを活用するとともに、いじめを絶対に許さないという意識を持って生徒に接し、早期発見・早期対応に取り組む。	目標を若干下回った 自己評価は3であるが、肯定意見の平均は、一昨年度91%、昨年度96%、本年度97%と年々良くなっている。	3	4
			平均 3.5 (昨年 3.5) 97% (昨年96%) <数値目標> 肯定意見 100%					
≪学校関係者評価委員コメント≫ <ul style="list-style-type: none"> ・早期発見、生徒のSOSを見逃さないで欲しい。 ・自分が嫌なことなどされたら、同じことを他人にしないようにしてもらいたい。 ・早期発見が重要。対応していただいている。 ・いじめは絶対にダメです。いじめられた子は一生忘れません。それに対していじめた子は忘れた、していないとしか言えないと思います。いじめ「0」にしたいです。 ・先生達も大変でしょうが、常に目配りをお願いします。 ・数値目標まであと一歩です。先生方の日頃の成果だと思います。 								

取組	評価指標内容	アンケート			今後の方策・手立て	分析結果	自己評価	委員評価
		項目	7月	12月				
3 体力・安全・健康の推進 (1)	①早寝・早起き・朝ご飯を指導し、特に朝ご飯摂取率100%を目指します。	毎日欠かさず、朝ご飯を食べている。	3.8 95%	3.8 96%	○保健日より、給食日より、学級通信を活用しながら、保護者の意識の啓発を図る。 ○栄養教諭を中心に食育教育を推進し、生徒及び保護者の意識の啓発を図る。	目標を若干下回った 肯定意見の平均は、昨年度と同じ95%であった。	3	3
	<p>《学校関係者評価委員コメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝ご飯を食べることが、一日の始まり。一番家庭では大切なことである。 ・保護者への意識の啓発が重要だと思う。 ・朝ご飯をしっかり食べている子は、記録力も良いとラジオで聴きました。 ・朝食は健康のバロメータ。規則正しい食事が望ましいです。「おにぎり1個」「バナナ1本」「牛乳又はお茶」習慣づけが必要です。 ・摂取ができていない家庭の理由（経済的か習慣的か）を把握して、保健師・民生委員・栄養指導師などの外部の方との協力を得ながら今後の改善をして欲しい。 ・保護者への呼びかけと講習会等が必要である。 ・十分な割合だと思う。 							
	②登下校時の自力登下校を推進します。	自力通学（イチキロウォーク）をしている。	3.8 96%	3.8 98%	○生徒会による呼びかけや、PTA生活指導部によるあいさつ運動などを引き続き行い、自力通学を促す。	目標を若干下回った 肯定意見の平均は97%で、昨年度と比べ2ポイント向上した。	3	3
<p>《学校関係者評価委員コメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標まであと一歩です。引き続き今までの指導をお願いします。 ・保護者の都合上、社会の状況による車の登下校なのでしょうか。しかし、1kmはして欲しいです。 ・車で迎えるが多いようですが、場所の設定（特に駐車場のある・なし）と、待ち時間の有効活用をお願いしたい。 ・イチキロウォークができていない生徒は、なぜできないのか？ ・自力登下校については、生徒全体に意識づけしている。 								

取組	評価指標内容	アンケート			今後の方策・手立て	分析結果	自己評価	委員評価
		項目	7月	12月				
3 体力・安全・健康の推進 (2)	③登下校指導や避難訓練等をとおして、自分の身は自分で守るという意識を高める。	自分の身は自分で守るという意識をもっている。	3.5 96%	3.3 88%	○登下校だけでなく学校生活でも、様々な危険が身近にあることを機会があるたびに指導し、安全意識の啓発を図る。 ○避難訓練を真剣に取り組むよう指導する。	目標を若干下回った 肯定意見の平均は、昨年度とほぼ同じ92%であった。	3	3
			平均 3.4 (昨年 3.4) 92%(昨年91%) <数値目標> 肯定意見 100%					
<p>《学校関係者評価委員コメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害への認識はしっかり身につけるべきだと思う。100%でなければ!! 家庭でも同じように「どうすべきか」との話合いは必要です。 ・油断は禁物です。機会あるごとに啓発をお願いします。 ・方策・手立ての充実を図ってもらいたい。 ・自分の身は自分で守るという意識を持つことが、とくに今の世の中で大切である。 ・機会あるごとに防災訓練をお願いしたい。 ・防災意識は重要。 ・十分な訓練等をしていただいている。 								

取組	評価指標内容	アンケート			今後の方策・手立て	分析結果	自己評価	委員評価
		項目	7月	12月				
4 積極的な生徒指導の推進 (1)	①学校、家庭、地域でのあいさつを徹底させます。	家族への朝のあいさつはもちろん、率先してあいさつをしている。	3.3 91%	3.3 91%	○PTA生活指導部や職員によるあいさつ運動、生徒会の取組みを引き続き行い、挨拶に対する意識の高揚を図る。	目標を十分に達成した 肯定意見の平均は、昨年度より3ポイント向上し、91%であった。	4	4
			平均 3.3 (昨年 3.3) 91%(昨年88%)					
			<数値目標> 肯定意見 70%					
<p>《学校関係者評価委員コメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、住民が率先してあいさつすべきです。子どもたちは大変よくあいさつしてくれます。 ・観光客のみなさんの反応が非常に良いようです。今後も続けてもらいたい。 ・素晴らしい。今後も続けてほしい。 ・地域でのあいさつは、私達も率先してあいさつするよう心がけています。 ・先生方の指導の成果が出ていると思います。 ・高中生徒はよくできています。頭を下げてくれる姿は気持ちよく、美しい姿です。 ・地域の方からあいさつするような気持ちを持つことが大事。生徒はよくあいさつをしてくれる。 								
	②何事にも前向きに挑戦し、粘り強く取り組みさせます。	何事にも前向きに挑戦し、粘り強く取り組んでいる。	3.1 84%	3.2 88%	○体育大会や文化祭といった行事を行う際に、目的意識を持たせる指導を行い、達成感・充実感を味わえるようにする。	目標を下回った 肯定意見の平均は、昨年度より2ポイント向上し86%であった。 自己評価が向上するよう更なる取組みが必要である。	2	3
			平均 3.2 (昨年 3.2) 86%(昨年84%)					
			<数値目標> 肯定意見 100%					
<p>《学校関係者評価委員コメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今やる・すぐやる」このことを学級指導・教科指導の段階で浸透させ、自発的にやっているという意識をもたせることで、次の段階（学年行事、学校行事）で生きてくるのではないかと思います。 ・体育大会など観せていただきましたが、挑戦する姿、粘り強さは伝わりました。 ・練習・準備の過程が、達成感につながると思います。日々の努力を望みます。 ・自己評価に遠慮があるのかもしれませんが、頑張ってください。 ・挑戦は楽しいと思わせて欲しい。片寄らない担当の分担を。十分な指導をしていただいている。 								

取組	評価指標内容	アンケート			今後の方策・手立て	分析結果	自己評価	委員評価
		項目	7月	12月				
4 積極的な生徒指導の推進 (2)	③基本的な生活習慣を学校と家庭が協力して身に付けさせます。	学校や家庭の決まりやルールを守っている。	3.1 87%	3.1 80%	○決まりやルールを守ることの大切さを、道徳の時間だけでなく日頃の学校生活のなかで随時指導していく。	目標を下回った 肯定意見の平均は、昨年度とほぼ同じ84%であった。自己評価が向上するよう更なる取組みが必要である。	2	2
			平均 3.1 (昨年 3.1) 84%(昨年85%)					
<数値目標> 肯定意見 100%								
	SNS利用3カ条を守っている。	SNS利用3カ条を守っている。	3.3 82%	3.3 82%	○SNSだけでなくスマホ・タブレットの使い方も含め、メディアコントロールについて、機会を見つけ何度も指導していく。 ○生徒会活動をとおして、SNS3カ条の啓発を行う。	目標を下回った 肯定意見の平均は、一昨年度86%、昨年度84%、本年度82%と年々悪化している。早急な対応が必要である。	2	2
			平均 3.3 (昨年 3.3) 82%(昨年84%)					
			<数値目標> 肯定意見 100%					
<p>《学校関係者評価委員コメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNSに関しては、継続したこまめな指導は大事だと感じる。 ・ 決まり・ルールは一生のもの。ダラダラ人間にならないよう心がけて欲しいです。 ・ SNSは学校だけでなく保護者が一番です。決まり・ルールをしっかりと守るようにして欲しいです。「家の子に限って」は甘い考えだと思う。 ・ 学校にも引き続きルールを守ることの大切さの指導をお願いします。PTAも活動するときではないか(もちろん、いろいろやっていると思いますが)。 ・ PTA等を通じて、保護者への啓発を強化すべきと考えます。 ・ SNS3カ条を作成して時間が経っている。もう一度、スマホ・タブレットの使いすぎに生じる障害を専門家の助言を得る機会を作ることはどうだろうか。薬物乱用防止教室と同等の扱いをする世の中にきているような気がする。 								

取組	評価指標内容	アンケート			今後の方策・手立て	分析結果	自己評価	委員評価
		項目	7月	12月				
5 開 か れ た 学 校 づ く り (1)	①地域の人材を活かした学習を積極的にを行います。	学校で、先生以外の 人から学ぶことがある。	3.1 82%	3.1 81%	○引き続き、地域の人材を活用して地域学習や職場体験学習を行う。	目標を十分に達成した 肯定意見の平均は、昨年度より3ポイント下がり、81%であった。	4	4
			平均 3.1(昨年3.2) 81%(昨年84%)					
			<数値目標> 肯定意見 70%以上					
<<学校関係者評価委員コメント>> ・地域の活動に参加している生徒をよく見かける。臨機応変な対応をお願いしたい。 ・職場体験学習は続けてもらいたい。異なる職種の方々の体験講話もいいのではないのでしょうか。 ・「ふるさと」を愛することになる。 ・地区の神楽の準備の手伝いや、建国まつりへの参加等、大変素晴らしいことだと思う。 ・郷土を知るよい機会だと思う。 ・地域の人材の掘り起こしをするのもいいと思います。								
	評価指標内容	アンケート			今後の方策・手立て	分析結果	自己評価	委員評価
	②職員も地域住民の一員として、地域行事に積極的に参加します。	先生は、地域行事に参加している。 (祭り引率など)	3.2 83%	3.2 84%	○引き続き、地域の祭りや行事への職員の参加を促す。	目標を十分に達成した 肯定意見の平均は、昨年度より2ポイント上がり、83%であった。	4	4
			平均 3.2(昨年3.2) 83%(昨年81%)					
		<数値目標> 肯定意見 70%以上						
<<学校関係者評価委員コメント>> ・よくやっているとします。感謝します。 ・充分していただいている。 ・少ない中学生(地区)で行事に参加することがなく、あっても部活優先ですので。 ・学校が統合されるようですが、各地区の行事に許される範囲で参加してもらいたい。 ・地域住民と接することで、先生自身のためにもなります。 ・先生方が地域行事に参加されることで、子どもたちに対して素晴らしい実践指導だと思います。 ・忙しい中、参加されていると思う。お疲れ様です。								

取組	評価指標内容	アンケート			今後の方策・手立て	分析結果	自己評価	委員評価
		項目	7月	12月				
5 開かれた学校づくり (2)	③学習面、生活面、スポーツ面の小中高連携を推進します。	小学校での学習や高校での体験が、学習面やスポーツ面で役立っている。	3.1 77%	3.1 72%	○生徒・保護者の目に見えるかたちでの小中高の連携のあり方を検討し、実践する必要がある。	目標を達成した 目標は達成したが、自己評価は4から3に下がった。小中高で連携して取り組むことが少なかったことが原因であろう。	3	3
			平均 3.1 (昨年 3.1) 75% (昨年80%)	<数値目標> 肯定意見 70%以上				
≪学校関係者評価委員コメント≫ <ul style="list-style-type: none"> 十分な連携が取れていると思う。 小中高連携は、住民が望んでいることで、素晴らしいことだと思います。 私の地区でも少ないです。 児童生徒がお互い刺激になると思う。 高校への進学率の問題もあるようですが、いま一層の交流をお願いしたい。 将来的に不登校の生徒を出さないためにも、それぞれの校区内の小学高学年と中学生とのなんらかの交流を計画していただきたい。 分析結果のとおりだと思います。校長レベル・教頭レベル・生徒指導レベルでの小中高、特に高校との具体的な連携事項を議論する場の設定ではないかと思います。 								